

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

1年の留学が必須であること、留学までの1年間に少人数のクラスでしっかりと学ぶところに魅力を感じ、同志社女子大学の受験を決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期] 苦手科目の克服と、勉強の習慣をつけました。私は、古巣が苦手だったので、基礎から時間をかけてしっかりと学び直すことで、センターレベルの問題を解けるようにしました。行事が終えるまでは、定期テストに向けてしっかりと勉強しました。受験勉強は、初めは勉強時間を記録するアプリを使って、反復と勉強時間を減らすことで、徐々に勉強の習慣がついていきました。自分の頑張った記録が見えることで、次の日のモチベーションには、良い影響が、どんどん勉強時間が増えています。

[夏休み] 夏休みは、お休みに予定を立て進めていきました。塾の他に、vintageを毎日少しずつ進め、解けなかった問題を解き進めて何回かすると、夏休みが終わる頃には、vintageのほとんどの問題は正解できるようになりました。英単語や古単語も少しずつ進めました。疲れた時や、移動中は、アプリのアプリを使い、時間を有効利用しました。私は日本史を最初から全く暗記しようとしてしまい、夏休み前と後と模試の結果が全く変わらなかったため、最初はお休みに流れを掴み、基本的なことを解き進める方が良かったと思います。

[2学期～入試直前] 問題演習を中心にしました。古巣を克服したと見せたいので、夏休みに勉強していたので、少し苦手にはなっていました。なので、得意科目も勉強して勉強することが大切だと思いました。入試前は、単語帳と過去問を解き進めました。英語の問題傾向が苦手だったので、過去問を解き進めることで、慣れていきました。また、日本史の過去問は最後まで4割くらいしかとれなかったのですが、諦めずに勉強することで、本番では3教科受験でも合格することができました。自分で理解してノートにまとめることで、歴史の流れを掴めたと思います。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

行事は全力で楽しめ、部活も頑張れ、勉強はその他の時間でメリハリをつけてするのが良いと思います。私は家に帰ってしまえば勉強はできなかったので、塾にそのまゝ行きました。スランプは、通知をオフにしたり、スクリーンタイムを設定したりしました。また、焦る気持ちもありますが、人と比べて自分のペースで、休むときはしっかりと休むことが大切だと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験を終えて思うことは、私は受験は頑張った人が合格するものだと思いますが、みんなに甘くはなくて、みんなに頑張っても不合格になる人が沢山いることが分かりました。大学受験はとてつもないので、目標に向けて少しでも早くから取り組み、息抜きや行事は全力で楽しんで、後悔のないよう毎日を送りたい！